

令和7年 第10回教育委員会 議事録

1. 日 時 令和7年10月28日(火) 午後3時～4時
2. 場 所 美浜町役場3階 301会議室
3. 出席者 教 育 長 加 藤 浩
- | | | | |
|-------------|-----------|--------------------|---------|
| 委 員 | 兵 庫 千 鶴 子 | 委 員 | 高 木 和 彦 |
| 委 員 | 渡 邊 悦 子 | | |
| 教 育 総 務 課 長 | 関 口 陽 子 | 生涯学習推進課長 | 渡 辺 強 |
| 生涯学習推進課参事 | 大 野 康 弘 | 生涯学習センター所長(館) 図書館長 | 渡 邊 理 佳 |
| 教育総務課長補佐 | 竹 内 洋 子 | 生涯学習推進課長補佐 | 山 本 由 加 |
| スポーツ推進室長 | 渡 辺 純 資 | ローソグの町美浜推進室長 | 川 畑 順 一 |

4. 内 容

(1) 開会挨拶 教育長

(2) 議事

1. 審議案件

①議案第30号 若狭国古城歴史資料館の開館時間の延長及び入館料の減免について

(生涯学習推進課参事説明)

ナイトミュージアムの実施に伴い、期間中8日間にわたりライトアップを行うため開館時間の延長及び入館料の減免を行うもの。

→承認

②議案第31号 美浜町部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドラインについて(スポーツ推進室長説明)

将来にわたりスポーツ及び文化芸術に親しむ機会の確保を目的とするもの。承認後は、認定基準を設定し、随時認定を行う予定である。

また、検討委員会における意見交換等を踏まえ、国のガイドラインに準じた内容としている。

(委 員) 多様な学びの機会の確保に努めてほしい。

新たな活動メニューはどのように決定していくのか。

(事 務 局) 文化協会等関係機関と連携しながら文化活動の充実を図っていく。

(教 育 長) 生徒のニーズを重視し、他地域の事例なども参考にしながら検討を進めていく。まほらの探求的なことも候補になると個人的には思っている。

(委 員) 地域性(田舎)を理由に機会が制限されることのないよう、格差のない取組みを進めてほしい。

→承認

2. 連絡・報告事項

①第36回美浜美術展・審査会の結果について(生涯学習推進課長補佐説明)

展覧会への参加について依頼

②なびとしょお気に入りの1冊コンテストの審査結果について（美浜町立図書館長説明）

応募数が減少傾向にあり確保が課題である。

（委 員）応募数減少の要因は何か

（事 務 局）児童生徒数の減少が一因と考えられる。

③若狭地方教育委員会連絡協議会教育委員研修会の実施について（教育総務課長補佐説明）

（教 育 長）教育部局と町長部局の政策が連携している点が特徴であり、美浜町の取組みを広く理解してもらう機会としたい。

④令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について（教育総務課長補佐説明）

〔説明〕嶺南教育事務所の分析に基づき説明。

教員による丁寧な指導が見られる一方、家庭での学習時間の少なさが課題である。

また、中学校では自己有用感が高い傾向が見られるが、理科（エネルギー分野）正答率に課題がある。

（委 員）学習時間の少なさが課題である。

（事 務 局）従来からの課題であり、学習塾少ないことも一因と考えられる。

（委 員）学習習慣の定着や学習量の確保に向けた取り組みが必要である。

（教 育 長）結果に一喜一憂するのではなく、探究的な学びと関連付けながら今後の指導に活かしていくことが重要である。

⑤教育財産使用許可（土地）について（福井県立艇庫ネーミングライツ取得に伴う事業者看板設置）（ローイングの町美浜推進室長説明）

関西電力（株）による福井県立艇庫のネーミングライツ取得に伴い、事業者看板を設置するための土地使用について説明。使用期間は、令和8年3月31日までとし、双方異議がない場合1年間の自動更新とする。

質疑なし

⑥各種スポーツ大会の結果について（スポーツ推進室長説明）

質疑なし

⑦教育総務課事務分掌の変更について（教育総務課長補佐説明）

質疑なし

3. その他

①各種イベントについて説明（生涯学習推進課長補佐説明）

公民館まつり等

②現在、町総合振興計画を策定、11月中旬に基本目標案を提示予定。教育分野についても連動しながら進めていく。

（3）閉会挨拶 教育長